

科目	感染予防と検査・処置の技術				
時間数	1単位 30時間	授業方法	演習	授業時期	2年
講師名	③和田智恵子 ③八塚愛未 ③児玉理衣				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	感染予防技術(洗浄・消毒・滅菌、無菌操作、針刺し事故防止と対応)を理解し、症状・生体機能管理技術(検体検査、血糖、採血、検査の介助)が安全に実施できる。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 無菌操作について理解し、技術が習得できる。 2. 検体検査時の検体採取の方法と取扱いがわかる 3. 生理機能検査における看護師の役割がわかる 				
授業計画					
回	内容				
1	使用した器具の感染防止の取り扱い(洗浄、消毒、滅菌)演習				
2	無菌操作(滅菌物の取り扱い)演習				
3	生理機能検査(呼吸機能、心電図、超音波)				
4	生理機能検査(X線検査・CT・MRI・内視鏡)				
5	生理機能検査(呼吸機能、心電図、超音波)事例検討				
6	生理機能検査(X線検査・CT・MRI・内視鏡)事例検討				
7	演習				
8	演習				
9	検体検査の介助(尿、便、喀痰及び咽頭分泌物)				
10	演習				
11	検体検査の介助(採血)				
12	演習				
13	針刺し事故の防止、事故後の対応				
14	演習				
15	まとめ				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験80%、学習意欲・出席状況等20%を総合して評価する 60点以上を及第点とする。				
教科書	基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ:医学書院 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ:医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 第4版:医学書院				